



お礼と「報告」(ネパール・子供の病氣治療)

昨年十一月のネパール訪問時、ナヤガン村の人々の“せめて子供だけでも助けて欲しい”と病める子を抱え必死に訴えていた切ない目と、あの時の御言葉に促され、早速、子供たちをドリケル市とカトマンズ市の病院で治療に当たらせて戴いております。

耳を患っていた子は、通院のいかあつて全快しました。

親ごさんは「毎日痛い痛い」と泣いている子を見てこの子の耳が聞こえなくなるのではないかと不安でいっぱいでしたが病院へ通い医者に治療してもらい、今はすっかり治りこうしてニコニコしている子を見ると有難くて有難くて日本人にたくさん御礼を言いたいです。」と涙々でそういつていました。一日でも早く病院へと急いだことがうれしい結果となりました。

背中にこぶの出来ていた子は、脊髄カリエス(結核)とのことで今、通院して投薬治療を続けています。ある程度薬の効果を見定めた後、骨の手術が必要とのこと、

医師の「手術します。」の言葉を待っています。

手に火傷を負った子は、外科手術をしましたが再度手術が必要とのことです。その後2・3ヶ月のリハビリを行うことにより良くなるとの事です。

どの病気の子供も村からの通院が出来なく、その間は付き添い共々病院の近くで宿をとり治療にあたっています。

こうして治療をさせていただけました。ご支援を賜りますお陰でございます。

天に徳を積まれますあなたさまの尊い御ところに深い感謝を捧げます。今後とも、ご理解・ご支援を賜れますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。



お知らせください

ご支援金をお振込みをいただきながらお名前だけでご住所が分からないためにボランティア便り等をお送りできず、心苦しく思っています。本紙面をもって御礼を申し上げます。今後「ボランティア便り」を送らせていただきたく、お心あたりの方は協会本部までご住所をお知らせいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

大混乱の中で!

ナヤガン村ゴルメスワリー校

ナヤガン村に向かう道で澄み切った青空と山々が、いつも車窓から見えて、私たちの旅を祝福してくれているように思いました。

山肌に沿った狭い悪路を延々と走り続けた山峡の地に、2階建て4教室の校舎の建設が始まり、今回落成式典が行われる予定でしたが、天候不順と道路の不通等により、工事の遅延も仕方ないことだということが、現地を訪れてよく分かりました。今後は2教室の増設を予定しています。

南毛利中や杉本小の生徒さん達からの文具、たくさんの方々からのぬいぐるみ、飴、ガム、ビスケット等を全校生徒に手渡しました。一列に並び、順番を静かに待つことが出来ず、我先に早く欲しくて泣き喚く、素朴な愛らしい子供たちで大混乱でした。貰えた子どもは、プレゼントの袋を大事そうに抱えて、笑顔でいっぱいでした。

又、裸足の生徒が多くゴムぞうりをプレゼントさせて頂きました。生徒達の制服は、傷みや汚れが目立ち、破けてポロポロになっていくものもあり、新しい制服を届けたいと強く思いました。

又、母親に抱かれています子どもの中で病弱気味の子もいるようでした。医者もいない、薬もない山奥の村では、なんの手当ても出来ず悪化し、障害が残ってしまうことが多いのではないかと心配です。医者巡回の

必要性を強く思いました。青漬を出している子どもを多く見かけ、栄養失調が原因と思われる、粉ミルクと肝油の支給を始めました。

竹とんぼ

エル・エンジェル校

昨年十一月エル・エンジェル校を訪問して、クラス3〜6年まで約90名の男子とともに竹とんぼ作りを楽しみました。

50年ぶりの竹とんぼ、ボランティア活動の真髓を満喫させていただきました。

子ども達の竹とんぼが高く飛んだ自慢げな顔、また高く飛ばないけれど楽しそうな表情などを拝見でき、「あーやつてよかった」と救われた気持ちでした。

作業場所が狭い屋外通路のために混乱し、整理が出来なかったことなどがありましたが、楽しそうに子ども達が頑張ってくれて、事前に多くの準備をした苦労が報われた気がします。

物づくりは楽しいもので万国共通で、純粋な子ども達が今後このような活動を受け入れてくれることを祈るばかりです。

竹とんぼを組み立てた後、子ども達が校庭で思い思いに楽しく飛ばしていた風景が思い出されます。

今回、ボランティア活動の目的と趣旨を理解して、童心に戻って、竹とんぼ作りに熱中できました。(竹とんぼグループの感想文より抜粋)

心のサポート

事業開始

当協会の事業として平成18年4月から1年間、独立行政法人「福祉医療機構」の助成による障害児とその家族の支援が行なわれました。参加された家族からは翌年も事業継続の要望が多くありましたが、医療ケアを必要とする障害者の方々が増えてきて看護士の確保などが困難となることが予測されたために、止むを得ず昨年は断念しました。このことをふまえ、その目処がついたために4月より「内観療法による心のサポート事業」を町田市民フォーラムにて再開いたします。開催日時は毎月第1日曜日、午後1時から5時までとなり、障害児やその兄弟とともにイチゴ狩りや、小遠足等の外出、フォーラムに残る子供たちと造形、音楽講師とともに過ごしていただくため、ボランティアアさんのご参加をお待ちいたしております。ご協力をお願いいたします。

サンデベシ校訪問

子供たちが全員並んで、花のレイをかけた、日本とネパールの国旗を振って、私たちが歓迎してくれました。

校庭で行なわれた歓迎式では正面の机の上にサワスワティ（学問の神様）や国王の写真が飾られ、私たちボランティアの男性にネパールの帽子を、女性にはスカーフをプレゼントしていただきお国らしい式典が行なわれました。先生や生徒はネパールの国歌、校歌を、私たちは「君が代」、エル・エンジェル（幸せになるように）を歌いました。そのあと、日本からの多くのプレゼント品を紙袋に入れて生徒一人ひとりに手渡しあげました。生徒からは感謝の意をこめて、笛や楽器の演奏で民族舞踊を踊って歓迎していただきました。

おいしかった

「ごちそうさま」

歓迎の式典が行われていた後方でカレーの支度が始まっていました。大きな金だらいのようなナベ（？）に色々な材料が入れられていました。船の櫂のようなものでいうか、その辺に落ちていたような長い板で、中の材料を混ぜていました。きれいとはいえないバケツで水を汲みカレーを煮ている鍋の中に何回も水を入れていました。きたないなーと思いつつもネパール流、ネパール流、子供達はそのなかでお腹をこわすことはないと思いつつ眺めていました。よもやそれ

を私たちが食べるなどと思ってもいませんでした。エル・エンジェル（の客人に出す。その思いで一生懸命作って下さっていたんです。「どうぞ」と言われたとき見ていたことを忘れ何の抵抗もなく食べていました。おいしい、そう思いました。誰一人おなかをこわす人はいませんでした。まごころで作って下さったその思いを頂けて「おいしかった」「ごちそうさま」です。子供達はもちろん大盛りカレーライスです。真剣に食べていました。真剣に一生懸命食べる。どの子も嬉しい笑顔でした。カレーパーティー後運動会です。ゴールにはぬいぐるみ・ビスケットなどのプレゼントが置かれています。裸足で縄跳びしながら、ぬいぐるみかけて猛ダッシュです。ぬいぐるみゲットした子は得意そうにみんなに見せたり、なでたりとても喜んでいました。次回はぜひ全員に抱かせてあげたいと思いました。どんなに喜んでくれるかと想像するとワクワクです。



楽しかった日本

招聘生徒感想文

エル・エンジェル国際ボランティア協会の招きにより、九月二十四日ネパールから日本に向けてワクワクする旅行を開始しました。午後7:35成田空港に到着し、空港では長浦先生、奥様および日本人ボランティアが愛情いっぱい歓迎していただきました。初めの2日間は三井ガーデンホテルに泊まり、東京デイズニールランドに行きました。

ここで日本人から良いマナーを学ぶチャンスを得ました。彼らは時間通りに仕事をやり遂げます。日本人の習慣から、自分の仕事で時間を厳守することを学びました。また、自分のことより、他人を思つて親切に手助けをします。この姿勢をみて、私の心のなかに人助けと社会活動の根が成長してきました。

日本は私の想像外でした。東京デイズニールランドは天国のようで、日本人は神様のようにみえます。

日本は清潔で、道路にはゴミや不用品が見当たりませんでした。三日目からホームステイをしました。ホームステイ先では私はせい一杯楽しみました。その家での友好的なふるまいで、私は自分の両親と一緒にいるようでした。また、ホームステイ宅で日本人からすぐれた習性を学ぶチャンスをおいただきました。年上の人を如何に敬うか、自分の家を如何に綺麗にするかです。

三日目、二つの学校訪問をしました。杉本小学校ではすべての生徒さんはよく訓

練されていて、清潔かつ整然と行動して
いました。学校では自分の弟や妹と一緒に
いるような感じでした。

その後、南毛利中学校を訪れました。学
校は60年前に創設されて、教育指導方
法は体系的になされて、生徒たちは
良く訓練が行き届いて、きちんとして清
潔に見受けられました。 彼らは私た
ちに文具類と美しい人形をくださいまし
た。私は感謝の念で一杯でした。 彼らの
勉強はかなり進んでいました。

最後に世界で一番速い新幹線を利用して
広島を訪れました。原爆投下による死
者が埋葬されている場所を訪れました。

これらの死体は広島に落とされた原子爆
弾によつて亡くなった人々です。そのと
き、私たちはひどいと思いました。建物
のなかに入ると原爆が落とされたときに
起こった出来事を表す彫像を見ました。

私は涙が止まりませんでした。しかしな
がら、私は広島に驚きました。

かつてこの地に原爆が投下されたとは想
像できないでしょう。

広島の人々は希望と勇気を失わなかつた
からだと思いません。

最後に、協会メンバーの方々に礼を申
し上げます。

私は将来偉くなって、エル・エンジェル
校の名声をネパールで高めるような目標
をもっています。私は今回の旅行を勉強
するための訪問としてとらえて、多くの
ことを学びました。

ネパールで日本と同じようなことを実行
していこうと思えます。

D・アチャヤ

孤児院より

エル・エンジェルチャイルドホーム

チャイルドホームの子供たちは、孤児支援を
下さるみな様のお陰で元気に過ごし、又学校へ
も真面目に通っています。
朝五時に起床し、洗面掃除をし、朝食をとり、
通学にはホームから学校までをオートリクシャ
で送迎しています。帰宅後はホームの手伝いや、
庭での遊び、又、ホーム専従の先生によつて、
予習や復習の勉強をしています。そのかいあ

つて、ニーラア
ベニイ(13才)
は、7クラスで
一番という成績
をとることが出
来ました。又、
年上の女の子は、
ミシン掛けをし
て他の子供の洋
服のつくりいや
袋物を縫うなど
してみな助け合
つて生活してい
ます。今後の成
長が楽しみです



(一台のリクシャーで何人乗れるかな?)

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 番号 68107191
三菱東京UF J銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通口座 番号 0966597

バザーより

昨年は、東京・広島・福岡等で大勢の
方がバザーをして頂き、その売上金をご
寄付頂きました。

参加者は、来場した方々との交流や、物
品を集めるにも工夫を重ねて、「楽しかつ
た」「参加してよかった」等の感想もいた
だきました。

今年もボランティアの輪が広がり、助
け合うところが広がりますよう、ご協力
をお願い致します。

お願い

去年、エル・エンジェル生徒招聘の際
ドイツニerlandに行きました。

みな楽しそうでした。

今年も九月ごろ招聘の生徒をドイツニ
erlandへと計画しています。

つきましてはドイツニerlandの入場券
を格安で買える方法などがありましたら
当協会にお知らせください。

編集後記

季節は春、やわらかく暖かいその陽に、
いつもいつも暖かく包んでくださった母
を思います。

ネパールやインドの子供たちがしつかり
芽を出し枝を上げ伸びています。

父や母となつて、暖かい心でご支援下さ
る皆様に心より感謝申し上げます。



(岩)